

公益財団法人 九州運輸振興センター

I 法人の概要（令和3年4月1日現在）

- 所在地 福岡市博多区博多駅東三丁目10番17号
- 設立年月日 昭和56年2月21日
- 代表者 会長 竹島 和幸
- 基本財産 25,170千円
- 北九州市の出捐金 500千円（出捐の割合 2.0%）
- 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	13人	0人	0人	13人
常 勤	1人	0人	0人	1人
非常勤	12人	0人	0人	12人
職 員	3人	0人	0人	3人

II 令和2年度事業実績

1 調査研究事業

事 業 名	事 業 計 画 等
懸賞論文の募集	大学等における交通経済に関する研究を促進するとともに、その研究成果を交通輸送産業に活用することにより、九州圏内の交通運輸・観光事業の発展及び地域社会の活性化に寄与することを目的として懸賞論文を募集した。本年度は9編の応募があり、審査委員会（2021年1月22日開催）で、優秀賞2編を決定した。

2 施設整備事業

事 業 名	事 業 計 画 等
九州圏における海運振興 関連施設整備 (日本財団助成事業)	(1) 離島住民の民生の安定と福祉の向上に資するため、冷凍コンテナ、保冷コンテナ等を製作して旅客定期航路事業者へ管理委託した。 ① 冷凍コンテナ 9個 (2) 離島住民の福祉の向上のため、風雨防止用通路シェルター、簡易待合所、バリアフリー対応型タラップを製作し、離島航路の岸壁に整備し、旅客定期航路事業者へ管理委託した。 ① 風雨防止用通路シェルター 12基 ② 簡易待合所 2基 ③ バリアフリー対応型タラップ 2基

3 広報啓発等事業

事業名	事業計画等
(1) 機関誌「九州うんゆジャーナル」の発行	賛助会員その他関係者への情報提供・サービス向上を図るため九州うんゆジャーナルを発行、配布した。(年2回)
(2) 講演会等の開催	(1) 講演会の開催 交通運輸・観光関係業界団体等と連携・共催して交通運輸及び観光の振興と近代化に関する講演会を開催した。(年1回) (2) 企業経営基盤強化セミナー 関係企業団体と連携し、企業の経営基盤の強化等につながる最新の情報等を提供するため、時宜に応じたテーマ・内容によるセミナーを企画・開催した。(年1回)
(3) 九州の交通・運輸に関する統計の整備	九州圏における交通・運輸に関する統計資料である「九州運輸要覧」を当センターホームページ上で公開した。(監修：九州運輸局)

Ⅲ 令和2年度決算

1 貸借対照表

令和3年3月31日現在（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減 額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	4,497,816	2,823,368	1,674,448
郵便振替	2,157,577	1,123,954	1,033,623
定期預金	2,000,000	2,000,000	0
前払金	42,791	626	42,165
未収金	51,300	110,000	▲58,700
流動資産計	8,749,484	6,057,948	2,691,536
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	25,170,000	25,170,000	0
基本財産計	25,170,000	25,170,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	13,875,200	12,772,000	1,103,200
冷凍・保冷コンテナ	123,801,659	135,287,576	▲11,485,917
通路シェルター	69,113,753	55,298,815	13,814,938
浮橋	12,664,953	17,016,678	▲4,351,725
特定資産計	219,455,565	220,375,069	▲919,504
(3) その他の固定資産			
什器備品	336,321	342,369	▲6,048
敷金	422,655	422,655	0
電話加入権	160,600	160,600	0
その他の固定資産計	919,576	925,624	▲6,048
固定資産計	245,545,141	246,470,693	▲925,552
資産合計	254,294,625	252,528,641	1,765,984
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	261,409	521,748	▲260,339
預り金	1,788,610	1,205,860	582,750
流動負債計	2,050,019	1,727,608	322,411
2 固定負債			
退職給付引当金	13,875,200	12,772,000	1,103,200
固定負債計	13,875,200	12,772,000	1,103,200
負債合計	15,925,219	14,499,608	1,425,611
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産計	226,130,365	228,153,069	▲2,022,704
（うち基本財産への充当額）	(20,550,000)	(20,550,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(205,580,365)	(207,603,069)	(▲2,022,704)
2 一般正味財産			
一般正味財産計	12,239,041	9,875,964	2,363,077
（うち基本財産への充当額）	(4,620,000)	(4,620,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	238,369,406	238,029,033	340,373
負債及び正味財産合計	254,294,625	252,528,641	1,765,984

2 正味財産増減計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減 額
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,518	2,521	▲3
② 受取会費			
賛助会員受取会費	10,598,500	10,883,500	▲285,000
③ 受取助成金等			
受取日本財団事業助成金 (施設整備)振替額	66,200,277	70,679,034	▲4,478,757
受取日本財団環境(基盤)整備助成金	20,940,000	20,770,000	170,000
④ 受取負担金			
受取施設整備事業負担金振替額	7,456,983	7,562,467	▲105,484
⑤ 事業収益			
機関誌広告収益	60,000	60,000	0
⑥ 雑収益			
受取利息	679	540	139
経常収益計	105,258,957	109,958,062	▲4,699,105
(2) 経常費用			
① 事業費			
調査研究事業費	731,404	579,134	152,270
施設整備事業費	247,868	193,338	54,530
広報啓発等事業費	2,517,679	3,034,695	▲517,016
機関誌作成費	1,850,994	1,766,961	84,033
講演会事業費	419,059	210,713	208,346
九州運輸コロキアム事業費	618	273,984	▲273,366
海事振興セミナー費	34	375,284	▲375,250
企業経営基盤強化等セミナー費	241,474	27,271	214,203
海の子育成事業費	0	193,092	▲193,092
交通運輸統計整備費	5,500	4,320	1,180
バリアフリー啓発促進事業費	0	183,070	▲183,070
事業管理費	19,329,694	19,005,845	323,849
給与費	13,572,086	13,239,382	332,704
役員給与費	5,439,904	5,436,600	3,304
職員給与費	8,132,182	7,802,782	329,400
福利厚生費	2,434,659	2,421,938	12,721
事務費	3,322,949	3,344,525	▲21,576
通信運搬費	226,053	248,933	▲22,880
消耗品費	36,926	39,028	▲2,102
印刷製本費	0	0	0
水道光熱費	121,113	120,070	1,043
賃借料	2,274,095	2,258,565	15,530
新聞図書費	146,339	144,028	2,311
交際費	0	0	0
保険料	4,131	4,674	▲543
租税公課	43,740	43,092	648
雑費	470,552	486,135	▲15,583
退職給付費用	882,560	578,560	304,000
役員退職給付費用	608,000	304,000	304,000
職員退職給付費用	274,560	274,560	0
什器備品減価償却額	4,899	4,899	0

冷凍・保冷コンテナ減価償却費	46,223,911	48,760,232	▲2,536,321
通路シェルター等減価償却費	22,833,756	24,936,206	▲2,102,450
浮棧橋減価償却費	4,351,725	4,351,725	0
事業費計	97,123,496	101,444,634	▲4,321,138
② 管理費			
給与費	3,497,934	3,634,098	▲136,164
役員給与費	1,359,976	1,359,150	826
職員給与費	2,137,958	2,274,948	▲136,990
福利厚生費	571,092	568,110	2,982
旅費交通費	423,721	567,075	▲143,354
事務費	1,057,848	1,094,232	▲36,384
通信運搬費	52,532	58,392	▲5,860
消耗品費	92,369	101,590	▲9,221
印刷製本費	0	0	0
水道光熱費	28,407	28,162	245
会議費	195,186	217,285	▲22,099
賃借料	533,425	529,785	3,640
新聞図書費	34,325	33,784	541
交際費	0	0	0
保険料	969	1,096	▲127
租税公課	10,260	10,108	152
雑費	110,375	114,030	▲3,655
退職給付費用	220,640	144,640	76,000
役員退職給付費用	152,000	76,000	76,000
職員退職給付費用	68,640	68,640	0
什器備品減価償却額	1,149	1,149	0
管理費計	5,772,384	6,009,304	▲236,920
経常費用計	102,895,880	107,453,938	▲4,558,058
当期経常増減額	2,363,077	2,504,124	▲141,047
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①受取日本財団事業助成金振替額	11	6	5
②受取施設整備事業負担金振替額	1	5	▲4
経常外収益計	12	11	1
(2) 経常外費用			
①固定資産除却損			
冷凍・保冷コンテナ除却損	6	7	▲1
通路シェルター等除却損	6	2	4
浮棧橋除却損	0	2	▲2
経常外費用計	12	11	1
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,363,077	2,504,124	▲141,047
一般正味財産期首残高	9,875,964	7,371,840	2,504,124
一般正味財産期末残高	12,239,041	9,875,964	2,363,077
II 指定正味財産増減の部			
①受取日本財団事業助成金	67,717,000	64,559,000	3,158,000
②受取日本財団施設整備負担金	3,917,568	5,995,858	▲2,078,290
③一般正味財産への振替額	▲73,657,272	▲78,241,512	4,584,240
当期指定正味財産増減額	▲2,022,704	▲7,686,654	5,663,950
指定正味財産期首残高	228,153,069	235,839,723	▲7,686,654
指定正味財産期末残高	226,130,365	228,153,069	▲2,022,704
III 正味財産期末残高	238,369,406	238,029,033	340,373

IV 令和3年度事業計画

1 調査研究事業

事業名	事業計画等
(1) 懸賞論文の募集	大学等における交通運輸・観光に関する研究を促進するとともにその研究論文を活用することにより、九州圏における交通運輸・観光事業の発展及び地域社会の活性化に寄与することを目的として、懸賞論文を募集する。(継続事業)
(2) 離島における冷凍コンテナ物流の現状調査	<p>冷凍冷蔵品の普及により、本土と離島を結ぶ航路における冷凍コンテナ輸送の需要が急速に高まっている。一方で、物流現場では、品質保持に必要な温度帯管理や商品の荷姿等に対して本土並みの管理が求められ、職場環境は対応の難しさが増している。さらに、離島を結ぶ航路は生活物資を運ぶ生命線であることから、台風等の災害の脅威に備えるような役割も離島住民からは大きく求められている。</p> <p>こうした状況を踏まえ、荷主、航路事業者等に対する調査により、離島物流における冷凍冷蔵品を中心とする量的変化、品質管理の変化への対応、災害時での対応など、冷凍コンテナ輸送に求められる現状と今後の課題を整理する。(新規事業)</p>

2 施設整備事業

事業名	事業計画等
九州圏における海運振興関連施設整備(日本財団助成事業)	<p>(1) 離島住民の民生の安定と福祉の向上に資するため、冷凍コンテナ、保冷コンテナ等を製作して旅客定期航路事業者へ管理委託する。</p> <p>(2) 離島住民の福祉の向上のため、風雨防止用通路シェルター、簡易待合所、バリアフリー対応型タラップを製作し、離島航路の岸壁に整備し、旅客定期航路事業者へ管理委託する。</p>

3 広報啓発等事業

事業名	事業計画等
(1) 機関誌「九州うんゆジャーナル」の発行	賛助会員その他関係者への交通運輸・観光等に関する情報提供・サービス向上を図るため九州うんゆジャーナルを発行、配布する。
(2) 各種講演会・セミナー等の開催	<p>交通運輸・観光に関する情報提供、普及啓発等を図るため各種講演会・セミナー等を開催する。</p> <p>(1) 講演会 交通運輸・観光関係業界団体等と連携・共催して交通運輸及び観光の振興と近代化に関する講演会を企画・開催する。</p> <p>(2) 九州運輸コロキウム 九州内外から講師を招き、交通運輸・観光全般について情報提供等を行うとともに意見交換・討議の場として開催する。</p>

	<p>(3) 海事振興セミナー 海事振興を目的として、特に海事に関する最新の情報提供や課題解決等のためのセミナーを開催する。</p> <p>(4) 企業経営基盤強化等セミナー 関係業界団体と連携し、企業の経営基盤の強化等につながる最新の情報等を提供するため、時宜に応じたテーマ・内容によるセミナーを企画・開催する。</p>
<p>(3) 次世代の海事産業を担うことになる小中学生等への啓発活動（海の子育成）</p>	九州運輸局に設置されている「九州海事産業次世代人材育成推進協議会」と連携して、次世代社会を担うこととなる小・中学生を対象に、海事産業現場の見学会を実施することなどにより、海事産業の重要性等の認識や理解促進を図る。
<p>(4) 九州の交通・運輸に関する統計の整備</p>	九州圏における交通、運輸に関する統計資料を当センターホームページ上で公開する。（監修：九州運輸局）
<p>(5) バリアフリー啓発促進</p>	離島においては本土以上に高齢化の進展等が著しいにもかかわらず、未だハード及びソフトともに十分なバリアフリー化が進められていないのが現状である。 このため、ハード面においては、行政の手の届かない、また、事業者で十分に対応できない部分のバリアフリー化の推進について、当センターが日本財団の助成によるバリアフリー対応型タラップ等を整備するなど、その一助となる活動を展開しているところであるが、ソフト面においても、バリアフリー実現のカギを握る船員や事務職員などの運航関係者、また一般市民（小中学生、乗船客など）を対象に、フェリー船内やターミナルを活用した、車椅子・視覚障害・高齢者などの疑似体験及びサポート体験をしてもらうことにより、離島航路におけるソフト面の一層のバリアフリー化を進めるため実施する。（継続事業）

V 令和3年度予算

1 収支予算書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日 (単位:円)

科 目	R3年度予算額	R2年度予算額	増 減 額
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	3,000	3,000	0
基本財産利息収入	3,000	3,000	0
② 会費収入	11,000,000	11,200,000	▲200,000
賛助会員会費収入	11,000,000	11,200,000	▲200,000
③ 助成金等収入	88,340,000	90,400,000	▲2,060,000
日本財団助成金収入	88,340,000	90,400,000	▲2,060,000
施設整備事業助成金収入	67,640,000	69,460,000	▲1,820,000
基盤整備助成金収入	20,700,000	20,940,000	▲240,000
④ 負担金収入	3,270,000	3,930,000	▲660,000
施設整備事業負担金収入	3,270,000	3,930,000	▲660,000
⑤ 広報啓発等事業収入	60,000	60,000	0
機関誌広告収入	60,000	60,000	0
⑥ 雑収入	2,000	2,000	0
受取利息収入	2,000	2,000	0
事業活動収入計	102,675,000	105,595,000	▲2,920,000
2 事業活動支出			
① 事業費支出	98,766,500	99,684,100	▲917,600
調査研究事業費支出	2,290,000	790,000	1,500,000
懸賞論文募集費支出	790,000	790,000	0
離島冷凍コンテナ物流調査事業費	1,500,000	0	1,500,000
施設整備事業費支出	70,910,000	73,390,000	▲2,480,000
広報啓発等事業費支出	5,130,000	5,100,000	30,000
機関誌作成費支出	2,000,000	2,000,000	0
講演会・セミナー等事業費支出	2,600,000	2,600,000	0
海の子育成事業費支出	300,000	300,000	0
交通運輸統計整備費支出	10,000	10,000	0
バリアフリー啓発促進事業費支出	220,000	190,000	30,000
事業管理費支出	20,436,500	20,404,100	32,400
給与費支出	13,721,600	13,721,600	0
役員給与費支出	5,440,000	5,440,000	0
職員給与費支出	8,281,600	8,281,600	0
福利厚生費支出	2,575,800	2,543,400	32,400
事務費支出	4,139,100	4,139,100	0
通信運搬費支出	324,000	324,000	0
消耗品費支出	202,500	202,500	0
印刷製本費支出	202,500	202,500	0
水道光熱費支出	194,400	194,400	0
貸借料支出	2,284,200	2,284,200	0
新聞図書費支出	145,800	145,800	0
交際費支出	81,000	81,000	0
保険料支出	8,100	8,100	0
租税公課支出	48,600	48,600	0
雑支	648,000	648,000	0
② 管理費支出	6,485,500	6,477,900	7,600
給与費支出	3,430,400	3,430,400	0
役員給与費支出	1,360,000	1,360,000	0
職員給与費支出	2,070,400	2,070,400	0
福利厚生費支出	604,200	596,600	7,600
旅費交通費支出	900,000	900,000	0
事務費支出	1,550,900	1,550,900	0
通信運搬費支出	76,000	76,000	0
消耗品費支出	47,500	47,500	0
印刷製本費支出	47,500	47,500	0
水道光熱費支出	45,600	45,600	0
会議費支出	580,000	580,000	0
貸借料支出	535,800	535,800	0

新聞図書費支出	34,200	34,200	0
交際費支出	19,000	19,000	0
保険料支出	1,900	1,900	0
租税公課支出	11,400	11,400	0
雑支出	152,000	152,000	0
事業活動支出計	105,252,000	106,162,000	▲910,000
事業活動収支差額	▲2,577,000	▲567,000	▲2,010,000
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2 投資活動支出			
特定資産取得支出	988,800	1,103,200	▲114,400
退職給付引当資産取得支出	988,800	1,103,200	▲114,400
投資活動支出計	988,800	1,103,200	▲114,400
投資活動収支差額	▲988,800	▲1,103,200	114,400
III 財務活動収支の部	0	0	0
IV 予備費支出	3,134,200	2,129,800	1,004,400
当期収支差額	▲6,700,000	▲3,800,000	▲2,900,000
前期繰越収支差額	6,700,000	3,800,000	2,900,000
次期繰越収支差額	0	0	0

VI 役員名簿

令和3年7月1日現在

役職名	氏名	備考
理事：12名		
代表理事(会長)	竹島和幸	西日本鉄道(株)相談役
執行理事(副会長)	城野隆行	九州地方倉庫業連合会会長
執行理事(理事長)	竹永健二郎	九州旅客船協会連合会会長
理事	佐竹陽一	日本通運(株)執行役員 九州ブロック地域総括兼福岡支店長
理事	伊東純一	(株)ジェネック代表取締役社長
理事	大西英二郎	九州地方港運協会副会長
理事	宗田銀也	九州地方海運組合連合会会長
理事	椎葉邦男	三菱造船(株)常務執行役員
理事	大黒伊勢夫	(一財)国際観光ビジネス協会理事
理事	廣川晶哉	九州旅客鉄道(株)取締役監査等委員
理事	迫田昌	奄美海運(株)取締役副会長
執行理事(専務理事)	福山二也	(公財)九州運輸振興センター
監事：1名	西正博	九州トラック協会専務理事